

瓦礫類一時保管エリアA1の 破損部修理について

2015年4月13日

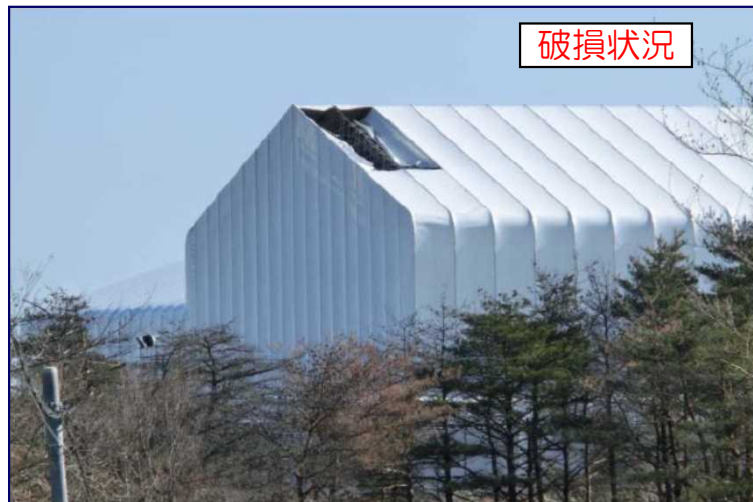
東京電力株式会社



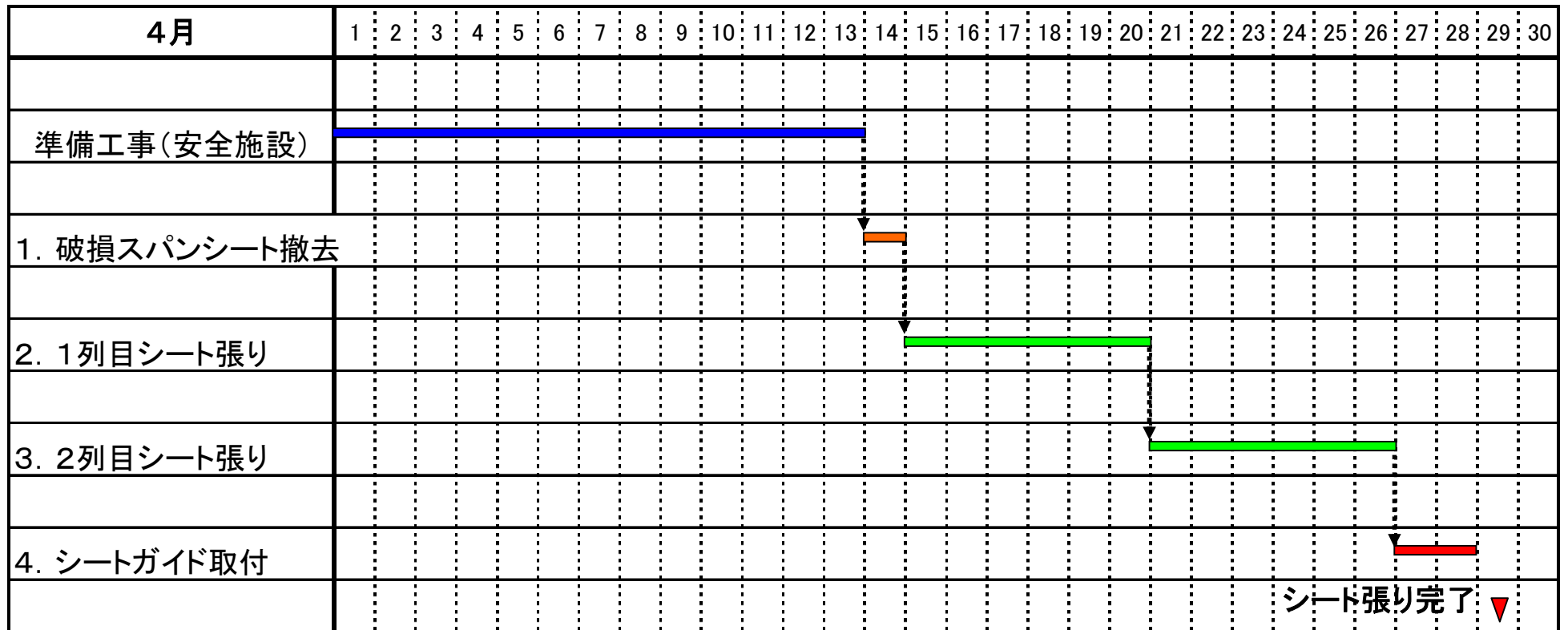
東京電力

1. 概要

- 2月16日に瓦礫類一時保管エリアA1において、テント屋根部分の損傷が確認された。
- ダスト抑制対策として、内部にあるガレキコンテナを移動し3月3日に内部のシート養生を実施した。
- その後破損状況の確認を実施すると共に、工事用の安全施設設置が完了したことから破損シートの取替を実施する。



2. 張替工程



今回のシート張替にあたっては、始めに破損スパンの撤去を実施する必要があり、作業完了までの間開口となる。

- ダストの抑制対策については、事前に内部床面ならびにガレキのシート養生を実施すると共に、ダスト測定により有意な変動が無いことを確認している。
- 今回、張替作業実施中について毎日テント内部のダスト測定を実施する。
- 作業中の降雨についてはシート面に溜まった雨水を吸着材にて処理を行う。

3. 実施手順

